

トラック運送事業者「持続可能な物流」促進事業 計画書兼評価・宣言書

< 貨物軽自動車運送事業のみの方 >

事業者名(申請者)	
代表者氏名	

1 計画兼評価

「持続可能な物流」に向けた取組項目のうち、下記の選択項目(達成項目)について取り組みます(取り組みました)。

※ 下記の選択項目の中から6項目以上を選択し、選択項目(請求時は達成項目)にチェック☑を記載してください。ただし、大項目の「物流の適正化・生産性の向上」の中から3項目以上を選択してください。

		交付申請時 □	支援金請求時 □
大項目	小項目	【選択項目】	【達成項目】
環境保全のための仕組み・体制の整備	- 従業員に対する環境教育 - 管理部門(事務所)の環境保全の推進 - 環境対応車の導入に向けた検討	□	□
		□	□
		□	□
エコドライブの実施	- 各車両の燃費の把握 - 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転 - 適切なエアコンの使用 - 適切なアイドリングのストップ - エコタイヤの導入(導入済み含む) - デジタルタコグラフの導入に向けた検討(導入済み含む)	□	□
		□	□
		□	□
		□	□
		□	□
		□	□
自動車の点検・整備	- 点検・整備のための実施体制 - 適切なタイヤの空気圧の管理 - エアフィルターやエンジンオイルの適切な清掃・交換	□	□
		□	□
		□	□
経営改善	- SDGsの理解促進 「ISO14001」又は「グリーン経営」の認証取得の取組 - 燃料サーチャージ制度の導入に向けた検討(導入済み含む) ※ メリット、デメリット等の検討	□	□
		□	□
		□	□
物流の適正化・生産性向上	- 業務時間の把握・分析 - 長時間労働の抑制 - 荷待ち時間や荷役作業等の実態の把握 - 物流システムや資機材(パレット等)の標準化 - 輸送の効率化の推進 - 渋滞を避け、余裕をもって出発 - 不要な荷物は積まない - 労働環境の作業負担軽減等の検討 - モーダルシフト・モーダルコンビネーションの検討 - 標準的な運賃の導入に向けた検討(導入済み含む) ※ メリット、デメリット等の検討	□	□
		□	□
		□	□
		□	□
		□	□
		□	□
		□	□
		□	□
		□	□
		□	□
		□	□
		□	□

～ 持続可能な物流に向け、各項目にチャレンジ ～

支援金の交付には、「物流の適正化・生産性向上」から3項目以上の達成

かつ全項目から6項目以上の達成を必要とします！

2 宣言及び支援金請求

当社は、トラック運送事業者「持続可能な物流」促進事業 計画書兼評価書において取り組んだ達成項目について、今後も継続して実施していくことを宣言し、支援金を請求します。

署名

(代表者又は個人事業者の氏名を記載してください。)